

古道下要害

## 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【古道下要害地区の農用地等面積】 117.8 ha

うち 【田】 111.3 ha 【畠】 5.9 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 111.5 ha)

- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 0.7ha
- ・古道下要害地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 6.0 ha
- ・主な生産品目：水稻、大豆、ピーマン、じゃがいも

(令和7年8月 26 日現在)

### 地域農業の課題

#### 1 基盤整備関連

- ─ 基礎整備はおむね終了
- ─ 暗渠排水工事が継続中
- ─ 基盤整備対象外農地の管理が課題

#### 2 担い手/高齢化

- ─ 個人農家の減少
- ─ 法人・法人化組織への農地預け増加
- ─ 法人構成員の高齢化
- ─ 今後の担い手確保が課題

#### 3 農地・耕作放棄地

- ─ 川沿いの石多
- ─ 法人による石拾い等の苦労
- ─ 耕作放棄地の存在

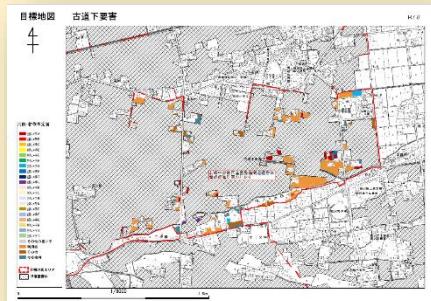
#### 4 鳥獣害

- ─ 川から害獣が来る

#### 5 その他

- ─ 電波が届かない場所がありスマート農業活用に制約

古道下要害地区的目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

## 地域農業の方向性

### 1 基盤整備後の農業継続

- 実施済・施工中区域で農業継続

### 2 農地の効率的な集積・集約

- 担い手への農地集積促進
- 小規模農家離農時の集約化
- 農地中間管理機構も活用

### 3 担い手の確保

- 若手の雇用促進
- 法人での新機械導入と技術習得
- 若い担い手の増加を目指す

### 4 スマート農業の導入

- ドローン、田植え機、トラクター、自動給水装置の活用
- 電波届かない場所への対応課題

### 5 農業支援・保全活動

- 多面的機能保全活動の推進
- 土地所有者と担い手共同による保全活動

### 6 多様な取り組み

- 鳥獣被害防止対策(電気柵等、草刈り)
- 有機・減農薬取組
- 燃料資源作物(ヒマワリ油等)
- 保全・管理活動の推進

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

#### ■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

#### ▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室 (TEL 0197-34-2371)

